



いわき けい いち
岩 脇 圭 一

いっ しん かい
一 津 会

持続可能な市政を支える職員・組織とは

問 市長は就任後の所信表明などにおいて「持続可能な市政」という言葉を使っているが、担い手である職員・組織の在り方に関して臨時職員の現状、来春から始まる会計年度任用職員制度への対応についての考えは。

また、「全職員が現場へ飛び出し、市民と対話を重ねながら、さらに信頼される市役所を目指す」とあるが、そのために必要なことは何か。

職員一人一人が現場に出かけることを望む

答 現在、臨時職員と非常勤職員は、保育士や幼稚園教諭など合わせて1,249名勤務している。会計年度任用職員制度導入により大きく制度が変わるため、対象となる臨時職員や非常勤職員本人、所属長に対し、説明会を実施し、その後、会計年度任用職員に移行を希望するかどうかの意思確認をする予定である。また、管理職職員がどんどん現場に出かけ、直接市民に接し、問題を一つ一つ解決していく。その積み重ねが、組織の現場力を高めると考える。職員一人一人が自分で時間をやりくりし、現場へ飛び出すことを期待していると職員に伝えている。

●その他の質疑・質問●

- 中核市について
 - 調査検討の状況は
 - 課題として重要なものは
 - 今後どのように進めるか
- 市民の暮らしをしっかりと支える力強い地域経済を築くための施策について
 - 創業支援の取り組みは
 - 「ミナツドエ in TOKYO」開催の成果は
 - 今後の展開は



▲より一層の起業・創業支援を



やまじ さゆり
山路 小百合

しみん
市民クラブ

病児保育施設の増設予定は

問 女性の雇用や社会進出が推進されている現在、仕事を持つ母親の割合が上昇傾向の中で、病児保育は大切な存在である。

現在は津市の広大な面積に対し2施設と少なく、また北西部に施設が無く、大変不便を感じ、預けるのが難しい現状である。

今後、施設増設予定があるとすれば、場所と時期の目途は。

また、新築のこども園等に併設は行えないのか。

津市北部地域への開設を支援していく

答 病児保育事業は、医療機関、あるいは、医師と連携することが不可欠であり、今後、新築する津市立のこども園に併設する形ではなく、医療機関等と連携した、病後児対応型の事業を開設することが考えられる。

時期は未定であるが、津市北部地域への開設について、民間事業者により具体的な検討が行われていることから、市も開設に向け支援を進めていく。



●その他の質疑・質問●

- 幼児教育・保育のシステムについて
 - 10月から開始される幼児教育保育無償化制度導入に伴う給食費徴収について
 - 特別流行疾病ワクチン助成
 - 休日保育予約開始時間の変更
- アサギマダラを活用した観光振興について
- 津インターチェンジ周辺と津なぎさまちにおける観光PR



▲市内に飛来するアサギマダラを活用した観光振興を